

各関係大学長
各関係学部長 殿
各関係機関の長

岩手大学教育学部長
宇佐美 公 生
(公印省略)

教員公募について (依頼)

このたび、本学部では下記の要領により教員を公募します。
つきましては、この旨を関係者に広くお知らせいただきますよう、よろしくお取り計らい願います。

記

1. 職 位 教授又は准教授
2. 採用人数 1名
3. 専門分野 哲学・倫理学
4. 担当科目
学部科目：哲学概論、倫理学概論、哲学特殊講義A・Bもしくは倫理学特殊講義A・B、倫理思想史I・II、倫理学特別演習A・B・C・D、倫理学特別研究I・II・III・IV・V、学校教育(哲学対話教育を含む)に関連する教職実践演習(分担)、小学校社会(分担)、社会科学習内容構築論(分担)等
教養教育科目：基礎ゼミナール 等
大学院(総合文化学専攻)科目：共生倫理学特論、共生倫理学特別演習I・II 等
5. 応募資格
(1) 博士の学位を有する者、又はこれに準ずる研究業績を有する者。
(2) 大学院(総合文化学専攻)において、教育・研究の指導ができる者。
(3) 小中高等学校における教育実践経験、又は教育研究機関等での勤務経験を有する者が望ましい。
(4) 採用後は、盛岡市又はその近郊に居住できる者。
6. 採用予定日 令和4年4月1日
7. 提出書類
(1) 教員の個人調書(本学の書式による。写真添付。A4判用紙、パソコン使用。)
(2) 教育研究等業績書(本学の書式による。著書、学術論文(実務経験者については、実践報告等も学術論文の一部に代えることができる。)、教育活動、地域・社会・国際交流貢献活動等に分けて年代順に記載。A4判用紙、パソコン使用。)
(3) 業績一覧(本学の書式による。A4判用紙、パソコン使用。)
・「分野」、「判定」欄は空欄とする。

- ・「業績」欄は本数を記入、「教育研究歴」は年数を記入する。
- (4) (2)の研究業績のうち主要著書・論文等合わせて5編以内(コピーでも可)。ただし、必要に応じて追加して論文等の提出を求める場合があります。
- (5) 本学採用後の教育・研究(小中学校の教員養成を含む)に対する抱負(A4判1枚程度)

※本学所定の教員個人調書・教育研究等業績書・業績一覧の書式は、本学部ホームページからダウンロードして下さい。(Word)『岩手大学』→『岩手大学教育学部』→『お知らせ』
(<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/>)

8. 応募締切 令和3年10月15日(金)必着

9. 提出先: 〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号 岩手大学教育学部長 宛
※封筒に「社会科教育科(哲学・倫理学)教員応募書類在中」と朱書きし、書留便で送付すること(簡易書留も可)。

10. 照会先 岩手大学教育学部社会科教育科 安井もゆる E-mail: yasui@iwate-u.ac.jp
または教育学部 学部運営グループ
TEL: 019-621-6504 Fax: 019-621-6600 E-mail: edujim@iwate-u.ac.jp

11. その他

- (1) 研究業績のほか、教育上の能力、社会貢献に関する業績及び大学等の組織運営上の実績等も考慮します。
- (2) 速やかに連絡がとれるように、携帯電話番号、電子メールアドレス等があれば「教員の個人調書」に記入してください。
- (3) 書類選考後に面接(模擬授業を含む場合もあります)を行いますが、旅費等は応募者負担となりますので、ご承知おきください。
- (4) 提出していただいた書類等は原則返却しませんが、返却を希望する場合はその旨を明記し、着払いの送り状を添付してください。
- (5) 応募書類に含まれる個人情報、採用者の選考および採用後の必要手続きに使用するものであり、他の目的では使用しません。
- (6) 岩手大学は男女共同参画を推進しています。業績および資格等に関わる評価が同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。両住まい手当制度や子育て・介護中の研究者に対する支援策等についてはこちら (<https://www.iwate-u.ac.jp/gender>) をご覧ください。
- (7) 採用後は教育学部の教員として教育実習関連業務や現職教員の研修に係る業務に従事していただきます。
- (8) 学部専門科目のほか、教養教育科目も担当していただきます。具体的には、採用後、自身の専門分野に関連した科目委員会へ所属し、委員会の所掌する科目を担当することになります。